

レディースカップ 第14回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会 実 施 要 項

- 1 主 催 (公社) 日本ウエイトリフティング協会／士別市／士別市教育委員会
「羊のまち士別」ウエイトリフティング競技全国大会実行委員会
- 2 主 管 北海道ウエイトリフティング協会
- 3 後 援 スポーツ庁／北海道／北海道教育委員会／(公財)北海道スポーツ協会／
(一財) 士別市スポーツ協会
- 4 期 日 令和4年11月2日(水)～11月3日(木)
- 5 会 場 士別市総合体育館
北海道士別市東4条4丁目 TEL 0165-23-1348
- 6 日 程 (1) 審判・監督会議 令和4年11月1日(火) 午後4時00分～
士別グランドホテル思親花

(2) 競技会 令和4年11月2日(水)～11月3日(木)
士別市総合体育館
別紙「競技日程(案)」参照

(3) 閉会式 令和4年11月3日(木) 競技終了後
士別市総合体育館
- 7 競技種別 個人選手権・団体対抗選手権 (高校の部・一般の部)
- 8 種 目 規定2種目(スナッチ・クリーン&ジャーク)
- 9 階 級 10階級(45・49・55・59・64・71・76・81・87・+87kg級)
- 10 競技規則 (公社)日本ウエイトリフティング協会制定の競技・競技会規則(以下「競技規則」という。)による。ただし、以下の事項については記載のとおりとする。
(1) 抽選は、資格審査会でパソコンを用いて競技委員長が一括して行う。
(2) 選手紹介は行わない。
(3) 試技時間は40秒とし、連続の場合は1分30秒とする。
(4) 新型コロナウイルス感染症対策のため、特別ルールを採用する。
- 11 競技方法 (1) 個人選手権
高校の部・一般の部に分け、各階級のトータル記録で順位を決定する。
(2) 団体対抗選手権
ア 高校の部・一般の部に分けて、得点成績で順位を決定する。得点合計が同点の場合は、上位者の多い団体が上位になる。上位者も同数の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。
イ 参加選手団(1名のみの出場選手も得点対象となる)の得点の合計によって順位を決定する。各階級のトータル8位までを得点対象とし、次の表に掲げる得点を

加算する。なお得点対象は、1 団体 7 名以内、1 階級 2 名以内とする。
 (参加者がこの枠を超える場合は、別チーム名で登録するか、または、A・B チームとして登録すること。ただし、この場合、申込後の選手の入替えは認めない。)

(注) 同一チームから 8 名あるいは同一階級に 3 名登録した場合、8 人目の選手若しくは 3 人目の選手は個人出場扱いとなるが、この場合でも団体得点の対象となるので、結果によっては 8 名又は同一階級の 3 名が得点を獲得することがある。その場合得点集計に混乱が生じるので 8 人目若しくは 3 人目の所属名は別チーム名又は A・B で登録すること。

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
得点	9 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

- 12 参加資格 (1) (公社) 日本ウエイトリフティング協会に令和 4 年度登録完了した者。
 (2) 満 15 歳以上であって、中学校を卒業した者。
 (3) 令和 3 年度以降において、次に定める標準記録に到達している者。また、その記録が都道府県単位の競技会で達成されたものである場合は、その記録表を添付すること。ただし、開催地に登録簿のある選手については、標準記録に到達していなくても、出場を認める場合がある。
 ※なお、下記階級のいずれかの標準記録に到達している場合は、本大会への出場資格を有するものとし、申込時の階級は任意とする。

[標準記録]

(単位：kg)

階級	45	49	55	59	64	71	76	81	87	+87
種別	高校	105	110	120	125	130	135	140	140	140
(トータル)	一般	115	120	130	135	140	145	150	150	150

※ 申込者が多数の場合、階級ごとに参加者数を制限する場合もある。

- (4) チーム編成の条件

高校の部 同一の高等学校の選手で編成されたチーム

一般の部

ア 地域スポーツクラブチーム

同一都道府県内に、現住所又は勤務先を置く選手で編成されたチーム。

イ 官公庁等及び企業チーム

同一都道府県内に勤務する者で編成する職場チーム。

ただし、同一事業体に勤務する者で、活動拠点が同一都道府県でない場合は、本社機能が存在する都道府県のチームとして申し込むことができる。

ウ 学校チーム

同一の大学の選手で編成されたチーム。

- 13 出場承認 (1) 参加資格審査会において出場承認をする。
 (2) 出場不承認者には、10 月 6 日 (木) までに申込責任者宛てに連絡する。
 (3) 参加承認者には連絡しない。

- 14 申込方法 (1) 申込責任者は「監督者又は所属長」とし、都道府県協会会長の承認を得て申し込む。(都道府県単位で申し込む場合は監督者とし、単独の学校等で申し込む場合は所属長とする。)
 (2) 別紙「申込要領」を参照のこと。
 (3) 大会参加申込書 (別紙申込書：様式 2) は記入後 3 部作成し、それぞれに都道府

県協会会長印を捺印後、下記2カ所（ア・イ）に1部ずつ送付すること。なお、1部は本人控えとする。また、参加申込書（エクセル形式）を、実行委員会宛にEメールにて送信すること。（会長印は不要）

また、「振込受付書」又は「取引明細書」の写しを下記「イ」へ送付のこと。

ア 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JSOS 内

（公社）日本ウエイトリフティング協会

TEL 03-6434-0681 FAX 03-6434-0682

メール weightlifting@japan-sports.or.jp

イ 〒095-8686 北海道士別市東5条3丁目

士別市教育委員会合宿の里・スポーツ推進課内

「羊のまち士別」ウエイトリフティング競技全国大会実行委員会

TEL 0165-26-7307 Fax 0165-23-4281

メール sportska@city.shibetsu.lg.jp

(4) 申込締切日 令和4年9月22日（木） 必着

15 宿泊申込 別紙「宿泊・昼食弁当要領」による。

16 参加料 (1) 1名につき 5,000円

(2) 参加申込書の提出前に、下記金融機関に振り込むこと。

金融機関名 北星信用金庫 士別北支店

口座番号 1096717 普通預金

(ヒツジノマチシベツウエイトリフティングキョウギセブンコクタイカイジツコウインカイインチョウワナベエイジ)

口座名 「羊のまち士別」ウエイトリフティング競技全国大会実行委員会

委員長 渡辺 英次

※ただし、振込手数料は振込者の負担とする。

(3) 「振込受付書」又は「取引明細書」の写しを、参加申込書と一緒に「14 申込方法 (3) イ」まで郵送すること。

17 表彰 高校の部・一般の部それぞれ部門ごとに表彰する

(1) 個人選手権は、各階級のトータル6位までを入賞とする。1位～3位までに賞状及びメダルを、4位～6位までに賞状を授与する。

(2) 団体対抗選手権は、6位までを入賞とし、1位チームにカップ（持ち回り）を授与する。1位～3位までの入賞チームに賞状及び賞品を、4位～6位までの入賞チームに賞状を授与する。

(3) 各部門の最優秀選手にレディースカップ（持ち回り）を授与する。

18 ドーピング・コントロール

(1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。

(2) 競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

(3) 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイトからダウンロードできます。

(https://playtruejapan.org/entry_img/ui18_template_20201116.pdf)

18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当

該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

- (4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
- (5) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意して下さい。
- (6) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイトにて確認して下さい。
(<http://www.playtruejapan.org>)

19 大会期間中の肖像権について

大会期間中に撮影された写真等を、主催者又は士別市が作成する報告書、広報誌、ホームページ、SNS 等に掲載されることがある。また、YouTube 等で競技の様子がライブ配信されることがある。

- 20 その他
- (1) 本大会は、新型コロナウイルス感染症対策として、特別ルールにより開催する。別紙「新型コロナウイルス感染拡大防止対策マニュアル」を熟読し、大会の趣旨を理解した上で参加すること。また、主催者から発出される新型コロナウイルス感染症対策の最新情報に従うこと。
 - (2) 申込後の「階級変更」は認めない。
 - (3) 申込後に出場の取り消し、若しくは棄権した場合の参加料は返却しない。
 - (4) 申込後において、団体選手権出場者に事故が生じた場合は、同一の階級に限り選手の交代を認める。（交代選手が競技会に参加登録していなくても大会要項 12 の参加資格に該当する選手であれば交代を認める。）この場合、最終の期限は監督会議前までとする。
 - (5) 申込責任者は、出場選手の健康状態を確認し、参加申込をすること。
 - (6) 競技会中における選手の負傷事故については、主催者側において応急処置をするが、その後の責任は主催・主管側で負わない。なお、これらの事故が発生した場合は、速やかに監督者を通じて大会実施本部に届け出ること。
 - (7) エントリー数によっては競技日程を変更するので、監督会議には必ず出席すること。
 - (8) 参加申込に際しては、個人の階級、氏名、所属、都道府県、生年をプログラムに掲載及び結果発表等を大会運営の目的で公表すること、競技会の画像・映像を大会関係者が使用することを承諾したものと取り扱う。